

# 倒伏防止のために、しっかり中干し！！

- 5月上旬田植えほ場の多くでは目標穂数の7～8割の茎数を確保しています。
- 田植え後30日を経過したほ場は、茎数を確認して中干しを開始しましょう。

## 1. コシヒカリ生育概況（6月10日調査、定点調査ほ4か所平均値）

### 【稲姿】草丈長く、茎数並み

草丈…	30	cm	（指標比	115	%、	長い	）
茎数…	207	本/m <sup>2</sup>	（同上	99	%、	並	）
葉色…	36.6	（葉緑素計）	（指標差	+ 1.6	、	やや濃い	）
葉数…	7.1	葉	（同上	+ 0.4	葉、	やや早い	）

## 2. 北陸地方1か月予報（新潟地方气象台・6月5日発表）

暖かい空気に覆われやすいため

向こう1か月の気温は高い予報です。

※6月10日ころに梅雨入りしたと見られます。



この程度の稲姿で  
中干し適期です。

## 3. 当面の対策

### （1）中干しと溝切りの確実な実施

ア 茎数を確認し、16本/株程度（50株植え）になっただら中干しを実施しましょう。

（詳細は、水稻生育速報No. 1参照）

イ かん水や排水を容易にするため、溝切りを確実に実施しましょう。

### ○適期中干しの効果

- ①過剰分げつ発生抑制による良質茎確保
- ②下位節間の伸長抑制による倒伏防止
- ③土壌への酸素供給による根の健全化、根域拡大
- ④地固めによるコンバイン作業効率の向上

## (2) 斑点米カメムシ類対策

6月上旬には畦畔や農道でアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメの越冬成虫が確認されます。

カメムシの餌となる畦畔のイネ科雑草を結実させない間隔で草刈りを実施しましょう。(詳細は各地域の「草刈り重点推進期間」に実施しましょう。)



【アカスジカスミカメ】



【アカヒゲホソミドリカスミカメ】

### 【新発田地域水稻生育速報LINE登録募集中です！】

○LINE公式アカウントを開発しています。

10月までの期間、新発田地域の稲麦大豆栽培に関わる情報を発信します。

なお、メールマガジンは、LINE情報に統合しましたので、ご了承ください。

登録はこちら →



【次回は6月19日に水稻生育速報No. 3を発行予定】